

2019年2月7日
給食施設従事者研修会

施設の取り組みについて

郷土料理を通して

社会福祉法人 とりかい 特別養護老人ホーム 飛鳥
管理栄養士 曾根田 佳代

施設紹介



法人名称：社会福祉法人 とりかい

所在地：福岡市城南区鳥飼6-2-16

開設年月日：平成11年5月28日

施設紹介

基本理念

1. 安心の提供

深く心を通わせ、穏やかで安心な日々を提供します

2. 個人の尊重

人にはそれぞれの歩いてきた長い歴史と個性があります。
その人の歩みに寄り添って歩きます。

3. 快適な環境

衛生的で心地よく、安全な環境を整えます。

4. 地域の人々との交流を密にします

お年寄り、子供たちが行き交う開かれた施設づくりを
目指します。

施設紹介

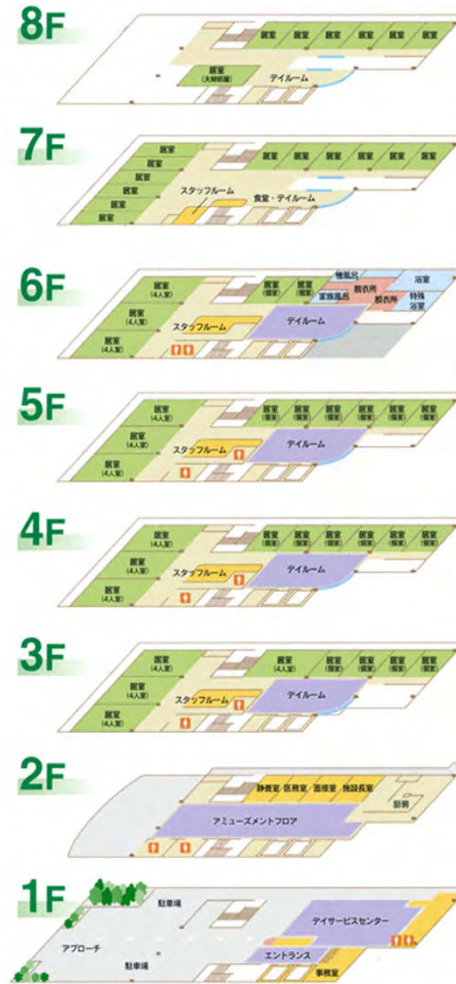
〈広域図〉



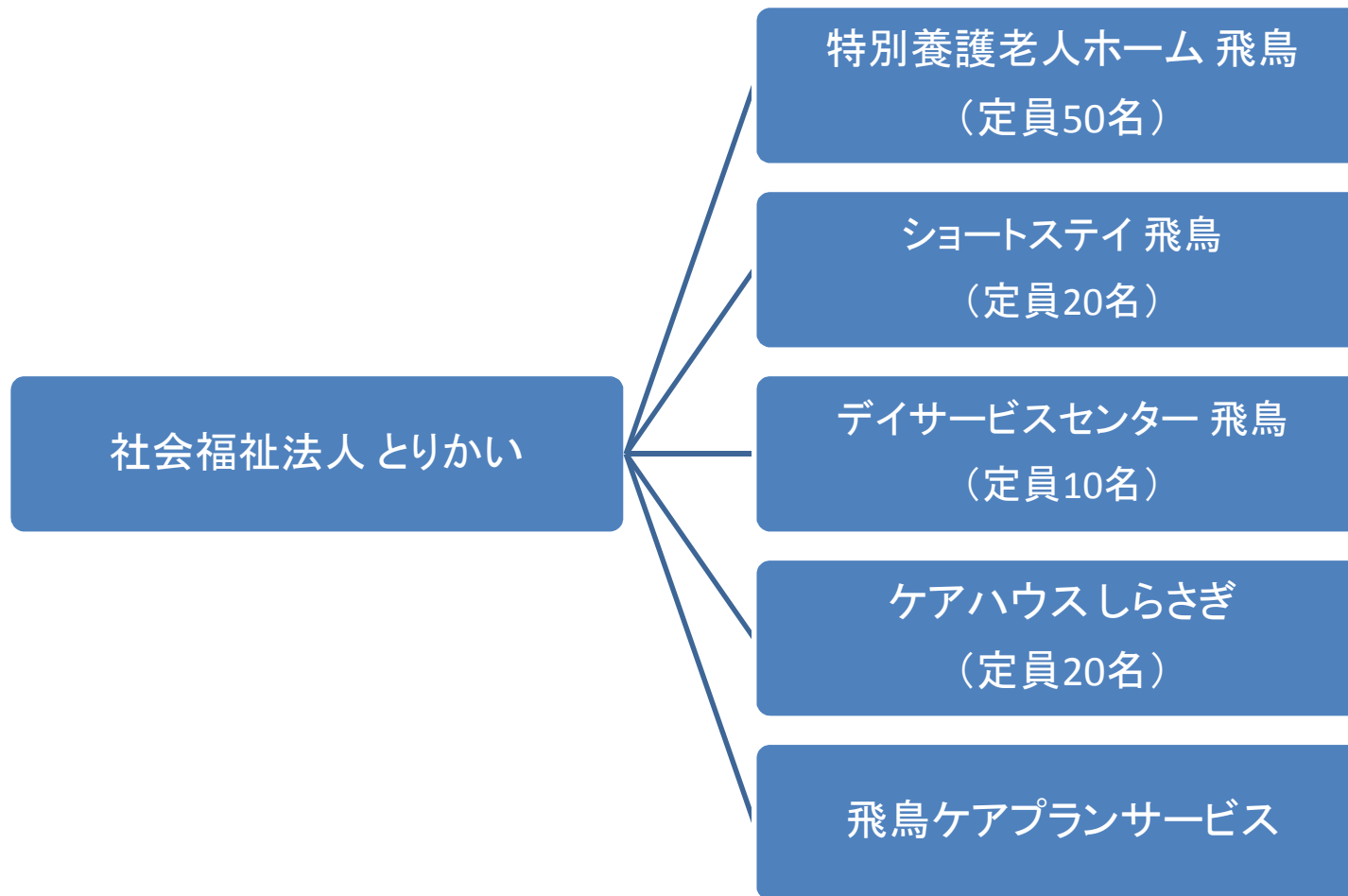
〈詳細図〉



施設紹介



施設紹介



運営方法・人員数

- 給食業務委託

委託内容：調理業務

食数管理業務

食材発注・在庫管理業務

検収業務

- 施設：1名

管理栄養士 1名

- 委託会社：10名

管理栄養士 2名 栄養士 1名

調理師 1名 調理員 2名

調理補助 4名

導入の経緯

- 食事がマンネリ化しており変化をつけたい。
- ケアハウスの喫食量が低下していた。
- 委託先より行事食への取り組みの提案があった。

導入の背景

第3次福岡市食育推進計画

平成28年度～32年度

食育で
明るい未来
元気な福岡

福岡市
FUKUOKA CITY

第3次福岡市食育推進計画 概要版

平成28年度～32年度

福岡市では、食育基本法第18条第1項に基づく市町村食育推進計画として、平成28年度から32年度を計画期間とする「第3次福岡市食育推進計画」を策定しました。第3次計画では、第1次計画からの取組みによる成果や福岡市民の食生活の現状を踏まえ、3つの基本目標と重点課題を中心に、ライフステージに合った食育を推進していきます。

- 朝食を毎日食べている
- 主食・主菜・副菜がそろった食事をしている
- 食事の挨拶をしている

- 食塩を振り過ぎないようにしている
- よく噛んで食べている
- 適正体温を知り、体温ややせに気をつけている

食育で
明るい未来
元気な福岡

- 市内産、県内産の農林水産物を買うようにしている
- 野菜の収穫や栽培などの農林業体験をしている
- 安易に食品を捨てない

- 食品を購入するときや食べる時に、表示をよく確認している

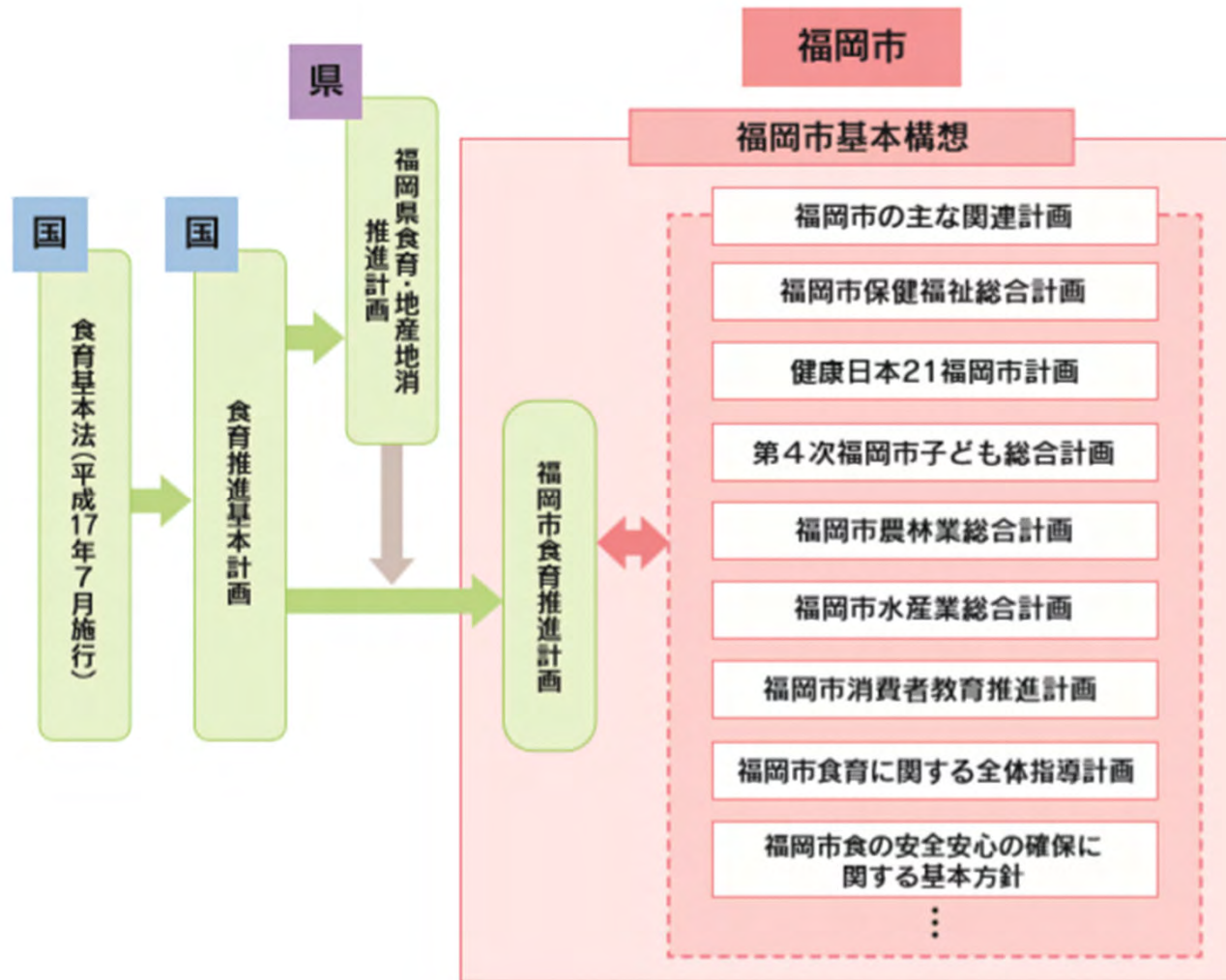
- 行事食や郷土料理を作ったり食べたりしている
- 家族や仲間と楽しく食事をしている

食育を実践していますか？
できることから始めましょう！

※このマークは、音声コードです。聴覚の基礎を身につけた聴覚障がいのある人も聴覚の機能を音声で聞くことができます。

福岡市
FUKUOKA CITY

計画の位置づけ



基本理念・基本目標

基本理念

家庭、地域、学校、職場などとの連携のもと、子どもから高齢者までのすべての市民が食に関する適切な判断力を養い、心身の健康増進を図るとともに、福岡の豊かな農林水産物の活用を通し、食の大切さへの理解を深めることにより豊かな人間性を育むことを目指します。



基本目標

①

食を通じた
健康づくりを
すすめましょう

市民がいくつになっても
生き生きと暮らしていくことを
実現するために、
健康寿命の延伸につながる
食育を推進します。

②

ふくおかでとれる
食材を日々の
食事に
活かしましょう

福岡の食材を通じ、食に関する
関心と理解を深め、環境に
配慮した食生活を送る市民を
増やすための食育を推進します。

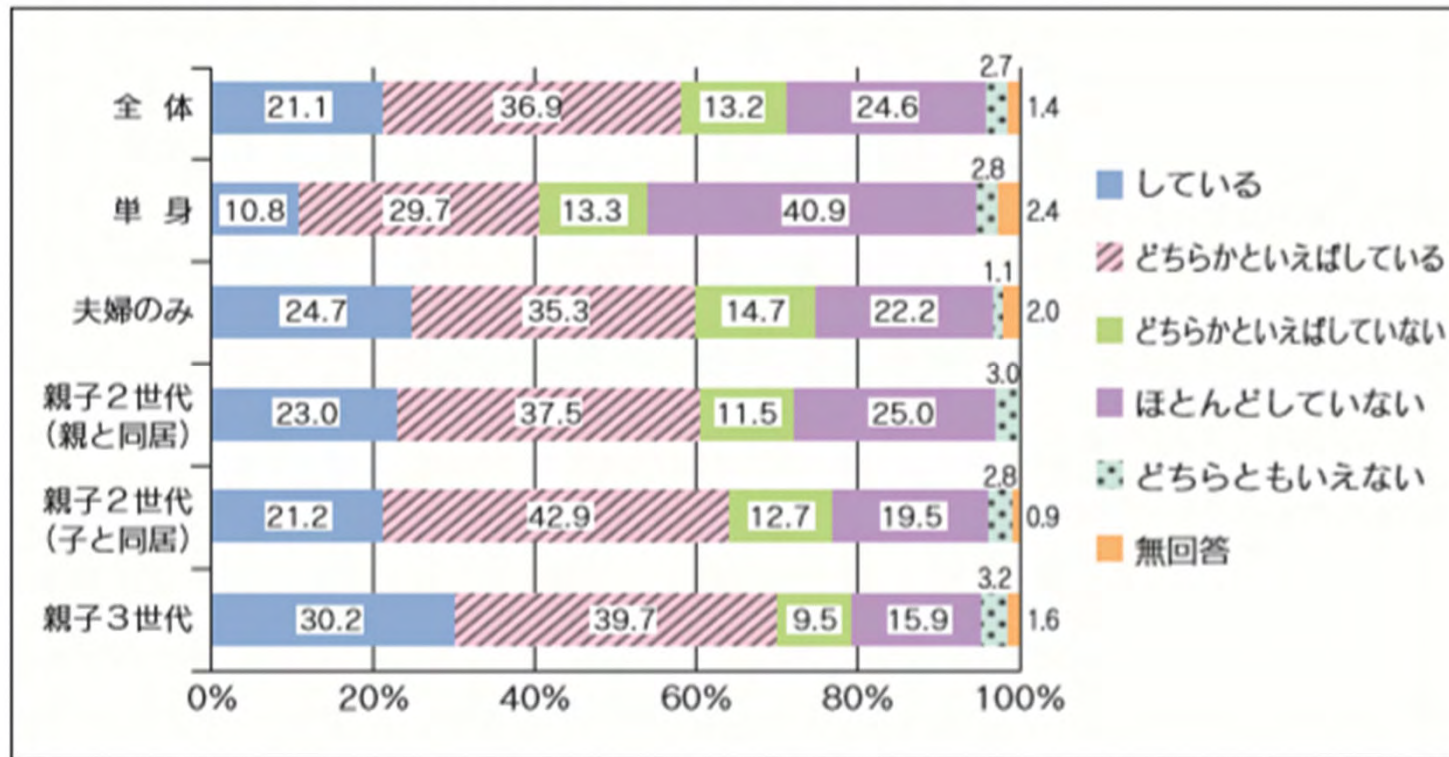
③

食を楽しみ、
ふくおかの食文化
を伝えましょう

豊かな人間性を育み、福岡の
郷土の伝統や文化のよさを継承・
発展させるために、家族や仲間と
食を楽しみ、時代に応じた
食文化を伝える市民を増やす
ための食育を推進します。

福岡市における食育の現状

図表10 行事食や福岡の郷土料理を作ったり食べたりするか



行事食や郷土料理を作ったり食べたりしている人の割合
全体の約6割

今回の取り組みの目的

- 郷土料理や駅弁を提供し、食事の時間を楽しんでいただきながら、各地域の食文化に対する理解を深める。
- 行事食を提供することで、喫食率の向上を図り、ご利用者の健康維持に努める。

具体的な内容

< 駅弁 >

対象者 ケアハウスしらさぎ 20名

実施回数 年間4回 昼食に提供

- 実施内容
- ・ 委託先の調理インストラクターに献立の相談・確認
 - ・ 事前にポスターを掲示し、ご利用者への案内
 - ・ 旅行気分を味わっていただくために、その地域の観光名所等を掲載したパンフレットを作成し駅弁と一緒に配布
 - ・ 弁当の掛け紙や箸袋の作成

駅弁 献立例①



鹿児島県 出水駅「えびめし弁当」

駅弁 献立例②



新潟県 長岡駅「いか豊穰めし弁当」

駅弁 献立例③



高知県 高知駅「かつおのたたき弁当」

駅弁 資料

事前に掲示する
ポスター



駅弁 資料

駅弁シリーズ

おこわ無法松弁当

小倉駅



～小倉駅近辺の名所～



いのちのたび博物館



いのちのたび博物館は新日本製鐵八幡製鐵所の工場跡地に建設され、様々な昆虫・恐竜・昔の町の風景等を展示している。恐竜をテーマとしたアースモールでは展示空間の大きさを生かし、恐竜の等身大全身骨格の展示も行われている。

《小倉城》



慶長7年(1602)細川忠興(ほそかわただおき)により築城されたが、戦乱により焼失した。現在の天守閣は昭和34年(1959)に再建されたもの。内部は、1500体の和紙人形を使った城下町のジオラマや、からくりシアターなどハイテクを駆使した資料館。小倉城庭園もあ

《北九州市立文学館》



文豪・森鷗外をはじめ、杉田久女、林芙美子、火野葦平など、北九州ゆかりの文学者を自筆の原稿や映像などで紹介している。館内には24mにも及ぶ年譜の展示があり、北九州の文芸の歩みを知ることができる。

《小倉祇園太鼓》



390年余の歴史をもつ小倉の真祭り。山車に据え付けられた太鼓を若衆が打ち鳴らし、街中に勇壮な太鼓の音が響き渡る。両面打ちの豪快な太鼓で知られ、2日目に行われる太鼓競演大会が祭りのハイライト。

観光名所等を掲載したパンフレット

具体的な取り組み内容

<郷土料理>

対象者	特別養護老人ホーム飛鳥	50名
	ショートステイ飛鳥	20名
	デイサービス飛鳥	10名
	ケアハウスしらさぎ	20名
実施回数	年間6回 昼食に提供	
実施内容	<ul style="list-style-type: none">・ 委託先の栄養士、調理スタッフに献立の相談・確認・ 事前にパンフレットを作成し、ご利用者への案内・ 食事と一緒に卓上カードを配布	

郷土料理 献立例①



福岡県の郷土料理「がめ煮・おきゅうと」

郷土料理 献立例②



愛知県の郷土料理「味噌カツ」

郷土料理 献立例③



長崎県の郷土料理「トルコライス」

郷土料理 資料

事前に掲示する パンフレット

ご当地グルメリレー ～味をつなぐ～

佐賀県郷土料理

平成31年2月1日(金)昼食

お品書き

- ・お赤飯
- ・さわらの西京焼
- ・温泉豆腐
- ・春菊の和え物
- ・清汁



佐賀県は、唐津、伊万里、有田の陶磁器で知られています。
また、果樹栽培や畜産が盛んで、佐賀みかん、伊万里梨、そして佐賀牛があります。
温泉地としても有名で、嬉野温泉、武雄温泉、古湯温泉等、人気です。
本日は嬉野温泉の温泉水を使った「温泉豆腐」をお出しします。ぜひご賞味ください。

栄養科

その他の取り組み



ケアハウス 天ぷらバイキング

その他の取り組み



ケアハウス にぎり寿司バイキング

その他の取り組み



デイサービス 梅干し作り

その他の取り組み



デイサービス 喫茶店

その他の取り組み



デイサービス おはぎ作り

取り組みの効果

- 毎年実施している嗜好調査結果では「駅弁や郷土料理を楽しみにしている」と評価は高く、ご利用者の満足度は向上している。
- ご利用者からは「昔、旅行に行ったことを思い出した」「地元の料理が懐かしい」と会話が弾み喜んでいただけた。
- 日頃、少食の方でも、行事食の日は喫食率が高かった。

今後の課題

- 嚥下障害を有するご利用者が多いため、ソフト食等への展開が今後必要。
- 日頃使用しない食材調達が困難な時もあった。
- 駅弁は品数が多く、料理や盛り付けに手間がかかるため、調理スタッフの負担増となる。

最近の取り組み



24	高齢者施設における 郷土料理の提供	実施主体 特別養護老人ホーム 飛鳥 ケアハウス しらさぎ 連携機関 社会福祉法人 とりかい
取組の内容	<p>●目的 郷土料理や駅弁を提供し、食事の時間を楽しんでいたがながら、各地域の食文化に対する理解を深める。</p> <p>●活動内容 -実施時期 平成29年度 年間10回実施 -実施場所 特別養護老人ホーム 飛鳥 ケアハウス しらさぎ -対象者、参加人数 入所者 70名程度 -実施内容 -団体に郷土料理や駅弁を提供した。 -より旅行気分を味わうために、その地域の観光名所等を掲載したパンフレットを作成し、会車と一緒に配布した。 -事前に創立章やポスターを掲示し、ご利用者への案内を行った。</p>	
	<p>●活動の成果・効果 ご利用者からは「昔、旅行に行ったことを思い出した」「地元の特産が懐かしい」と会話が弾み、楽しんでいた。また、その土地ならではの料理を提供することで、地域の食文化が広がるよい機会となった。</p> <p>●課題、今後の展望 今後も定期的に、行李金や郷土料理を取り入れ、会を通じて交流や会話が弾むような機会を提供していきたい。</p>	
<p>団体の紹介や食育に関するPRなど 社会福祉法人とりかいは、平成11年ご病院を母体として福岡市城南区に設立されました。地域の福祉に安心してご利用いただける施設として、スタッフ一同にこそを込めたサービスの提供に努めております。また、お食事については、お一人お一人の身体ごに考慮するとともに、楽しくお食事ができるよう心がけております。</p>		

記入者 (所 属) 社会福祉法人 とりかい
(連絡先) TEL 092-841-6701 / FAX 092-841-6730
E-mail sirasagi@y4.dion.ne.jp

まとめ

- その土地ならではの料理を提供することで、その地域の食文化に触れるよい機会となった。
- 今後も定期的に、行事食や郷土料理を取り入れ、食を通じて会話や笑顔が増えるような機会を提供していきたい。
- 第3次福岡市食育推進計画における「給食等での行事食や郷土料理の提供」という取り組みを通じ、ご利用者の健康維持に努めていきたい。



社会福祉法人 とりかい

<http://www.torikai.org>

ご清聴ありがとうございました